

平成 31 年 2 月

放課後等デイサービス事業 ガイドラインによる自己評価  
結果・改善点・公表方法等に関する報告

社会福祉法人 こぐま福祉会 こぐま学園  
放課後等デイサービス事業 こぐまクラブ

【アンケートの実施】

- ・保護者アンケート調査 : 回収率 97% (77 人配布中 75 人回収)
- ・職員自己評価 : 職員 100% (18 人中 18 人回収)

【各項目に関する回答集計データ】

項目	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	スペース、職員配置・専門性、生活空間では、保護者、職員共に概ね適切と感じておられます。	保育士、児童指導員、言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士等の資格を持った職員を配置しています。専門性では、園内外での研修に参加し、より専門性を高めていきます。 同伴通園を行なっている当事業所としては今後も保護者に療育場面を見ていただき、保護者との連携の中で意向等を把握し業務改善につなげていきます。
適切な支援の提供	ニーズにあった支援計画と活動プログラムに対しては、保護者はほとんど適切と感じておられます。 職員は、適切な支援の提供ができていると概ね感じており、職員間で打ち合わせをして支援の内容や役割分担について確認するという内容ではできていると感じています。	今後も満足いただけるように適切な支援の提供に取り組んでいきます。
保護者への説明等	保護者への説明等での全体では、保護者は過半数が「はい」の回答でした。 保護者の連携支援と活動の自己評価の発信で「どちらともいえない」の回答が多く、苦情への対応では「わからない」の回答が多かったです。	アンケートの結果より、保護者への説明や連携の時間が不足していると考えられます。今後、より説明を増やし保護者同士の連携の時間を設けていきます。 自己評価の発信は、昨年度は館内掲示だけでしたが、今後はホームページ上でも対応していきます。 苦情の対応は、現在館内掲示は行っています。今後は契約時によりわかりやすく説明を行っ

		ていきます。
非常時の対応	ほぼできていると感じている職員とは裏腹に、保護者は、マニュアル、避難訓練共に「どちらともいえない」と感じている方が多かったです。	事業所では、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。非常災害の発生に備えての避難、救出、その他必要な訓練は毎月行なっています。今後、保護者への周知に取り組んでいきます。
満足度	保護者より 80%以上は楽しみにしている・支援に満足していると回答がありました。	今後も利用者に寄り添い、利用者の満足度をより上げることに取り組んでいきます。

### 【まとめ】

放課後等デイサービス事業こぐまクラブは、学年、目的に合わせて保護者同伴通園での集団療育を行なっています。職員は、福祉職を中心に医療職が加わりチームアプローチでの支援を行なっています。保護者との連携支援の一つとして、小学生の時期は療育を同室で見えていただき、毎回保護者へのフィードバックを行なっています。

今回のアンケート調査より、自己評価の発信、各種マニュアルの周知、避難訓練等の取り組みや保護者との連携支援に対しては、こぐまクラブが取り組んでいることも保護者へきちんと伝わっていないことがわかりました。保護者への説明、や情報提供等が不足していると考えられます。今後は、必要に応じて説明や提示を行い、情報をしっかり伝えることに力を入れていきたいと考えます。そして、保護者同士の連携では、日々の取り組みの中できっかけ作りをおこなっていくことから始めたいと考えています。

職員間では、放課後等デイサービスでの取り組みを見直し、ガイドラインに沿って職員間の研修および外部研修等での職員の研鑽を進めていきます。

今後とも皆さまに満足いただける事業所を目指して進めてまいります。